

社会人  

---

1年目の  

---

社会学

社会学者

鈴木洋仁

SUZUKI HIROHITO

## はじめに

本書を手を取ったあなたは、社会人何年目ですか？

慣れない職場で頑張っている1年目の方も、2年目3年目の方、もしかすると、社会に出て長い方もいらっしゃるでしょう。

この本を手を取ったあなたはきつと、社会に出て、モヤモヤしたことや理不尽に感じたこと、また、仕事や未来のことで悩みや不満があるのではないでしょう。か。

でも、それは当然のことです。

何歳になっても、働く上で、生きていく上で、悩みがなくなることはありません。

あなたは、何に悩んでいるのでしょうか。

その悩みを、誰かに相談しましたか。

その答えは、SNSにも落ちていないし、YouTubeでも誰も言っていない、ChatGPTに聞いても答えが出てこない。だから、悩んでしまう。

仕事に向き合おうとしても、なかなかうまくいかない。

上司が何を考えているのかわからない。

どうすれば評価されるのが見えない。

この会社にずっといるのだろうか。

転職したほうがいいのか。

仕事と私生活をどうやって両立させられるのか。

悩みや不安は、いくつになっても尽きません。

とりわけ、社会人1年目をはじめとする若いみなさんにとって、自分の悩みや不安がどんなものなのかさえ、つかみにくいのではないのでしょうか。

悩みも不安も、生きている限り消えないのかもしれない。

悩み続けるのが人生、などと言えば、格言めいてきます。

反対に、悩みや不安から解放されたとするなら、それは、もしかすると勘違いの恐れがあります。あるいは、宗教における悟りだったり、解脱と言われたりする境地なのかもしれません。

## 入社1年目は、みんなモヤモヤすることばかり

あなたよりも同期のほうが鼻肩されているように見えたり、自分だけが貧乏くじを引いているように思えたりしませんか。

上司に言われた通り頑張っているのに、なかなか成果が出ない。取引先どころか、社内の人ですら、なかなかわかってくれない。

花形の業務だったはずが、実際は、地味なパワポ作りに追われ、それどころか、パワポをコピーして人数分用意するだけで毎日が過ぎていく……。

ワークライフバランスを重視した入社だから、定時に帰れるのは嬉しい。でも、成長している実感を得にくい。別の会社に行った友人は、残業や出張もいとわないでキラキラしている。あなたとの距離が、広がっていくように感じているかもしれません。

この仕事には向いていなかったんじゃないかとか、もっと厳しい会社を選ぶべきだった

のではないか、などなど。現状だけではなく、将来についても、モヤモヤは消えません。

そこで、この本の出番です。

あなたの悩み、不安、モヤモヤすることを、具体的な疑問に答えるかたちで、解きほぐします。

その悩みの理由は、どこにあつて、どうすればいいのか。社会学の考え方をヒントに考えます。社会学ならこう考える、といったかたちで、あなたの悩みを分解し、なぜ、その悩みをもったのかまで、さかのぼります。

「これが答えだ!」と、「正解」を押し付けるわけではありません。お悩み相談で、「スッキリ解決!」と、一直線に解決策を示すものでもありません。

それよりも、あなたが悩みを抱えている理由や、不安を抱く背景、モヤモヤの原因を分析するツールを提供したい。ご質問にお答えする上で、なぜ、その質問がでてきたのかを

考えたい。質問にストレートに答えるというよりも、あえて遠回りをして、社会学をヒントに説明したい。

なぜ、遠回りをするのでしょうか。  
それが社会学の醍醐味だからです。

## そもそも社会学って何？

では、その社会学とは何でしょうか。

あなたは、社会学にどんなイメージをもっているでしょうか。

社会学は、いまから190年ほど前、フランスの思想家オーギュスト・コントが使い始めたことばです。社会を意味するフランス語sociétéの学問＝sociologieと名づけました。

sociétéということば自体、その頃、つまり、19世紀の中頃に、主に西ヨーロッパで意味が固まります。sociétéやsocietyとしか呼べない何か、の存在に、多くの人たちが気づ

いた、と言うべきでしょう。

世界＝world(英語)・monde(フランス語)とか、地球＝Earth(英語)・Terre(フランス語)といった、眼に見える広い領域とは別に、自分たちが生きているエリアを指し示す言い方が、societyとsociétéです。

それまでも、politics＝政治学や、economics＝経済学、のように、ある特定の仕組みや業界を対象にする学問はありました。政治家や経済人といった、専門の職業があり、いまのことばで言えば「界限」がわかりやすい。

これに対して、societyはどうでしょうか。

日本語でも「社会人」とは言うものの、決まった職種を示すわけでも、資格の有無を言うわけでもありません。大学を卒業した人、とか、働いている人、あるいは、学生ではない人、といった、あいまいなものにとどまります。

社会学は、まさしく、こうしたほんやりとした何かをとらえるのに最適な学問として始

まりました。政治でも経済でもなく、文学や歴史でもない。あまりもの、とも言えますが、それだけに、他の学問ではつかみにくい何かを、なんとかして把握しようとする、そんな性質を、もともともっています。

そうした社会学だからこそ、あなたの悩みや不安が、漠然としていればしているほど、使える概念がたくさんあります。

腰が痛い、とか、花粉症がひどい、といった、体に関する悩みであれば、薬を飲んだり、病院に行ったりします。離婚をしたいなら弁護士に、事故に遭ったら保険会社に、それぞれ相談します。いずれのケースも、原因や対策が見えやすいからです。

社会学との対比で言えば、医学的だったり、法(律)学的だったりするような悩みと答えは、わかりやすい。

わかりやすいから簡単だ、という意味ではありません。わかりやすいゆえに、争点が多くなったり、解決しにくかったりします。

ただ、そういったものは、悩むより、すぐに解決に向けて動きやすいのではないでしょうか。悩んでいる暇があったら、すぐに何かをしやすい。それが、社会学以外の、と言いますか、わざわざ社会学を使う必要のない疑問です。

これに対して、この本で扱うのは、なぜ、その悩みを悩みとして、あなたが抱えるに至ったのか、という点です。たとえば、「なぜたった1分でも遅刻をすると怒られるのか」や「なぜ上司との人間関係がうまくいかないのか」といった疑問です。あなたの悩みや不安、モヤモヤの後ろにあるものや、周りにあるものを、あえて照らし出そう、というのが本書の特徴です。

おぼろげだからこそ、実は、他の人も同じところに引っかかっていたり、これまでも多くの人が経験してきたり、といった、「あるある」を拾いながら、しかし、経験談に収まるのではなく、社会学の道具立てを借りてこよう、というのが、この本のコンセプトです。

## 社会人にこそ「社会学」が役立つ

こう考えるのは、私の経歴が関係しています。

私が大学で働き始めたのは9年前ですが、大学を出てから12年間は企業などで働いていました。

最近で言えば、「実務家教員」に含まれます。これは、「専攻分野における概ね5年以上の実務の経験を有し、かつ高度の実務の能力を有する者」と文部科学省が定義しています。

私は、大学卒業後に、関西テレビで6年半、その後、国際交流基金で5年半、それぞれ勤務してきましたので、「実務家教員」に該当します。

ただ、どの勤務先にも、この枠で採用されているわけではありません。国際交流基金で働きながら、大学院に通って、修士号と博士号をとり、学者として、また別のキャリアを積んできました。

こうした立場からすると、社会学は、働く上で、とてもフィットしやすい。

大学時代にも社会学を少し学んでいたのですが、それよりもはるかに、「社会人」として大学院で研究し始めた時のほうが、腑に落ちました。単に人生経験を積んだ、というよりも、社会学が、もっと実際の生活に直結している、という実感を得られたのです。

そうした立場から、私自身の経験談をふまえた上で、しかし、あくまでも社会学の考え方に照らして、いろいろな悩みや不安、モヤモヤに向き合う、それが、この本の狙いです。

本書は、ひとつの疑問について、ひとつの概念を当てるかたちで、全部で45のテーマを扱います。新卒1年目の男性が聞いてきますので、それに答える形で説明します。

「職場」「キャリア」「人間関係」「ワークライフバランス」「生き方」の5章に分けてはいませんが、どこから読んでいただいてもかまいません。

どこかに、あなたが働きやすくなったり、生きやすくなったりするヒントがあります。

まずは気楽に、目次を眺めていただきたい。そこで、少しでも目にとまったことばがあれば、どこからでもページをめくってください。

すぐに効く、即効性はないかもしれませんが、それだけに、折に触れて読み返したり、拾い読みしたりしていただきやすい。気軽だけれども、だからこそ、あなたの人生が楽しくなり、社会学に触れたくなる、そんな一冊になっているはずです。

はじめに

0 0 2

## なぜたった1分でも遅刻をすると怒られるのか ——「職場」を社会学する

- 時間の社会学 《Keyword》〈共同〉幻想  
なぜたった1分でも遅刻をすると怒られるのか…………… 0 2 0
- 挨拶の社会学 《Keyword》儀礼的無関心  
なぜ元氣よく挨拶をする人は評価が高いのか…………… 0 2 4
- メールの社会学 《Keyword》疑似同期  
なぜ即レスが求められるのか…………… 0 2 9
- 居場所の社会学 《Keyword》役割期待  
席に座っても誰も声をかけてくれない！…………… 0 3 3
- 仕事の仕方の社会学 《Keyword》個人化  
なぜ仕事のやり方は人によって違うのか…………… 0 3 9
- ファッションの社会学 《Keyword》顕示的消費  
やっぱり「人は見た目が9割」なのか…………… 0 4 4
- 人間関係の社会学 《Keyword》予期  
なぜ上司との人間関係がうまくいかないのか…………… 0 4 8
- ミスの社会学 《Keyword》ハビトゥス  
仕事を覚えられずミスを繰り返してしまう…………… 0 5 3

「シロデキ」の社会学 《Keyword》ハイパー・メリットクラシー  
仕事ができる」「できない」は何で決まるのか…………… 058

## なぜやりたい仕事には絶対に出会えないのか ——「キャリア」を社会学する

資料づくりの社会学 《Keyword》機能／逆機能

なぜパワポ作りは面倒くさいのか…………… 064

仕事の意味の社会学 《Keyword》フルシット・ジョブ

なぜ無意味な仕事が多いのか…………… 069

生き方の社会学 《Keyword》ライフコース

なぜやりたい仕事には絶対に出会えないのか…………… 074

勉強の社会学 《Keyword》耳学問

勉強は「量」「質」よりも「耳学問」が大事…………… 079

英語の社会学 《Keyword》遠隔地ナショナルリズム

こんなに翻訳アプリが進化しているのに、  
英会話やTOEICを勉強する必要はあるのか…………… 084

ビジネス書の社会学 《Keyword》再帰的プロジェクトとしての自己

ビジネス書を読む人は何を考えているのか…………… 089

格差の社会学 《Keyword》相対的剥奪／準拠集団

私の年収、低すぎ……!?!…………… 095

## 会社の飲み会、行きたくない。さあ、どうする？

### 「人間関係」を社会学する

- 転職の社会学 《Keyword》キャリアアラダー  
 入社1年目は転職サイトを見てはいけない…………… 100
- 資格の社会学 《Keyword》専門家支配  
 なぜ働きながら資格試験を受けなければならぬのか…………… 105
- 「働きたくない」の社会学 《Keyword》労働疎外  
 働かない人は価値がないのか…………… 109
- ハラスメントの社会学 《Keyword》ラベリング理論  
 新入社員、ハラスメントをする…………… 116
- ルールの社会学 《Keyword》1次ルールと2次ルール  
 なぜ就業規則は読んでおいたほうがいいのか…………… 121
- 昼ごはん、会社の人と食べたくない 《Keyword》まなごしの地獄  
 昼ごはん、会社の人と食べたくない…………… 126
- 敬語の社会学 《Keyword》社交  
 なぜ敬語を使えないと怒られるのか…………… 131
- 組織の社会学 《Keyword》カリスマ的支配  
 社長を無条件に尊敬したほうがいい理由…………… 135

失敗の社会学 《Keyword》ゲメインシャフト／ゲゼルシャフト  
失敗と手柄を分け合うだけでうまくいく…………… 140

社内恋愛の社会学 《Keyword》単純接触効果  
社内恋愛ってダメなの？…………… 145

飲み会の社会学 《Keyword》社会関係資本  
会社の飲み会、行きたくない。さあ、どうする？…………… 149

嫉妬の社会学 《Keyword》欲望の三角形  
なぜ同期のインスタを見ると嫉妬してしまうのか…………… 153

友情の社会学 《Keyword》純粋な関係性  
なぜ同期を大事にしたほうがいいのか…………… 157

## なぜ成功する人は地元・実家とうまく付き合っているのか ——「ワークライフバランス」を社会学する

趣味の社会学 《Keyword》文化資本／文化資源  
「趣味は何？」と聞かれて困る…………… 164

結婚の社会学 《Keyword》上昇婚  
なぜマッチングアプリがこんなにも流行っているのか…………… 169

家事の社会学 《Keyword》アンペイドワーク  
掃除・料理の無償労働とどう向き合うか…………… 174

第  
**5**  
章

自分に自信がないのはなぜか  
——「生き方」を社会学する

夫婦の社会学	《Keyword》性別役割分業	179
専業主夫は今後増えていくのか		
恋愛の社会学	《Keyword》草食系	184
恋愛経験がないっておかしいですか？		
ジモトの社会学	《Keyword》弱いつながりの強さ	189
なぜ成功する人は地元・実家とうまく付き合っているのか		
非婚の社会学	《Keyword》動機の語彙／典型的な語彙	194
結婚する気が起きないのは社会がそうさせているから		
残業の社会学	《Keyword》感情労働	199
残業したほうがいいのかしないほうがいいのか		
過労死の社会学	《Keyword》死にがいの喪失	204
仕事が好きでも働き過ぎてはいけない理由		
自分に自信がないのはなぜか		
——「生き方」を社会学する		
読書の社会学	《Keyword》読者共同体	210
なぜ読書は大事と言われるのか		
歴史の社会学	《Keyword》統計的因果推論	215
なぜ歴史を学ぶと仕事がうまくいくのか		

スポーツの社会学 《Keyword》間身体的作用力論

なぜスポーツ観戦が趣味の人は長生きするのか

サブカルチャーの社会学 《Keyword》ヘルソナ

オタクになると、人生が豊かになる理由

承認(欲求)の社会学 《Keyword》信頼

自分に自信がないのはなぜか

「自分らしさ」の社会学 《Keyword》多元的自己

自分らしさとは何か、考えてしまう君へ

未来の社会学 《Keyword》長期主義

将来が不安なのですが、どうすればいいのでしょうか？

おわりに

あとがき

注

参考文献・読書案内

2 2 0

2 2 5

2 3 0

2 3 5

2 4 0

2 4 5

2 5 3

2 5 8

2 6 0